

## 図工室から VOL 1 6

令和6年12月18日  
馬橋小学校



第16回の「図工室から」は、展覧会を振り返ります。

12月6日、7日に馬橋小学校の展覧会がありました。児童、保護者合わせて1800人を超える方がご参観くださいました。本当にありがとうございます。

図画工作科では、材料や素材を扱いながら広がったイメージを表した作品や、彫刻刀や電動糸のこぎりなど、学んだ用具の扱い方や技法を基にやりたいことを見つけて表した作品など、各学年の様々な題材を展示いたしました。体育館上方のフェンスにはペア学年で取り組んだ「what color do you like?」という小さい絵画も展示しました。体育館ステージには高学年児童が家庭科で取り組んだ作品も展示しました。児童のがんばった過程や想像したこと、こだわったことなどが作品一つ一つによく表れていました。

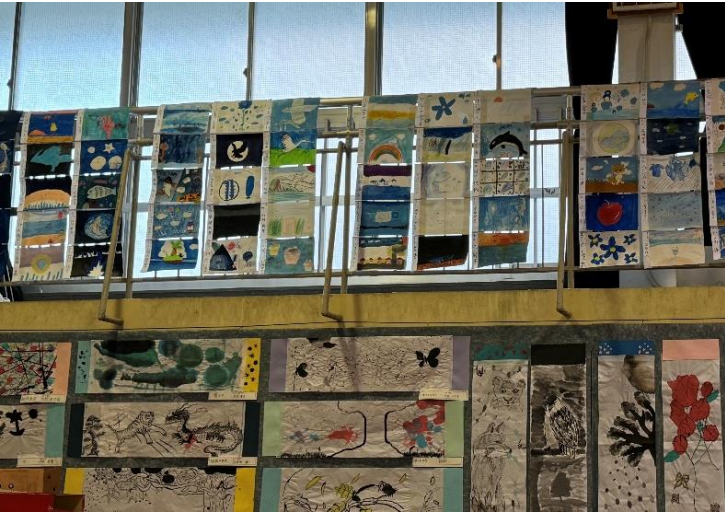
放課後の鑑賞時間には、児童と保護者が一緒に作品鑑賞をする姿も見られました。展覧会を実施するに当たり、作品鑑賞を通してそれぞれの家庭で豊かなコミュニケーションが生まれることを願っておりますので、心から嬉しく思いました。

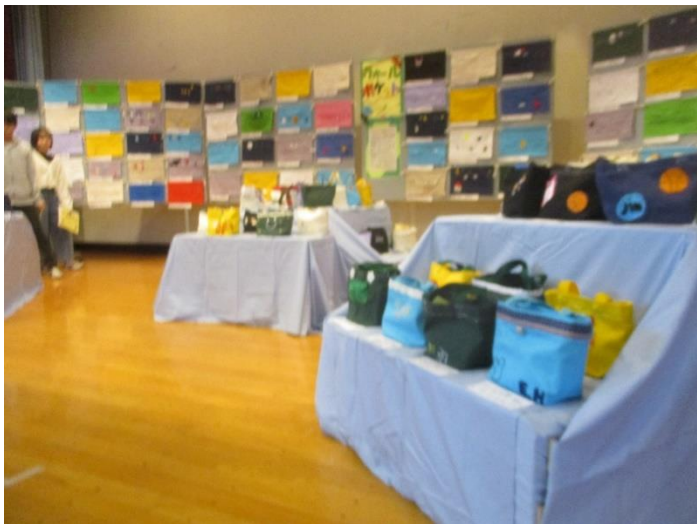
また、展覧会の準備では、行事を盛り上げるために高学年児童が委員会活動を通じて様々な取り組みを行いました。プログラムの会場図の作成や、題材の説明を聞くことができるQRコードの作成、体育館の

回廊や入り口の装飾など、主体的にアイデアを出して協力して準備していました。会場の設営や片付けも高学年児童が力を貸してくれました。そうした、作品以外の部分でも児童の頑張りや工夫が光る展覧会でした。

馬橋小学校では、児童の思いを大切にしてい関わり合いの中で充実した学びを実現すべく教育活動を行ってまいります。今後も本校の教育にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。







馬橋小学校 図工専科 直本 鉄平